

CSS レイアウトのカスタマイズガイド V4

CAS-UB サポート

2016年10月19日発行 V4.0 初版



CAS電子出版
<cas-ub.com>

はじめに

EPUBではレイアウト指定にCSSを使います。CAS-UBではレイアウトを「CSSのテーマ」として予め用意していますので、自分でCSSを作成する手間を省くことができます。

一方、自分なりにレイアウトを指定したいときには、独自のCSSを用意して好きなレイアウトに変更できます。CAS-UBのテーマをベースにして一部だけを変更したり、あるいはCAS-UBのテーマを使わずに自分で用意したCSSだけのレイアウト指定もできます。

このためにはCAS-UBのCSSテーマとはなにか、あるいはCAS-UBでXHTMLの要素と属性をどのように指定しているかについての情報が必要です。本書はユーザー・スタイルシートを作成する人向けに、主に、次の項目について説明しています。

1. CSSテーマとユーザー指定CSSの関係
2. ユーザー作成スタイルシートを作るために必要な情報
 - a) CAS-UBの記事の種類・レベルの設定
 - b) CAS-UBが出力するHTMLの要素と属性
3. その他の参考情報

「CAS-UB User Guide V4.0」（以下、「ユーザーガイド」）の関連の箇所を参照しながらお読みください。EPUBのレイアウトに関しては「ユーザーガイド」の第12章 EPUBのレイアウト指定で説明しています。

注 意 本ガイドはXHTMLとCSSに関する基礎的な知識を前提としています。

目 次

はじめに	i
第1章 テーマとユーザー作成スタイルシートの関係	1
1.1 テーマの選択とリンク	1
1.2 調整用スタイルシートとユーザー・スタイルシート	2
第2章 CAS-UB による記事 XHTML	5
2.1 特徴	5
2.2 記事の種類	5
2.3 タイトルと本文の見出しの関係	7
2.4 CAS 記法のブロック要素	9
2.5 CAS 記法のインライン要素	11
2.6 クラス属性、組み込みクラス属性と ID 属性	13
第3章 カスタマイズの例	15
3.1 タイトル・見出しのカスタマイズ	15
3.2 表の左右罫線とヘッダーの背景	21
第4章 旧版仕様など	23
4.1 記事の種類（旧版 V2.x 用）	23
参考資料	25
図表一覧	27

第1章 テーマとユーザー作成スタイルシートの関係

1.1 テーマの選択とリンク

CAS-UBの「CSSのテーマ」とはシステムに予め登録してあるCSSスタイルシートのセットです。テーマの登録はCAS-UBの管理者が行ないます。また、登録されているテーマは全ユーザーに共通です。

※ 特定のユーザー専用テーマの新規作成や、既存のテーマをカスタマイズして専用のテーマとして追加することもできます。詳細は、営業担当（cas-info@antenna.co.jp）までお問合せください。

テーマの選択

EPUB生成の「一般」設定メニューの「CSSのテーマ」のリストに利用できるテーマの一覧が表示されます。好きなテーマを選択して、設定を保存すると次のEPUB生成から有効になります。

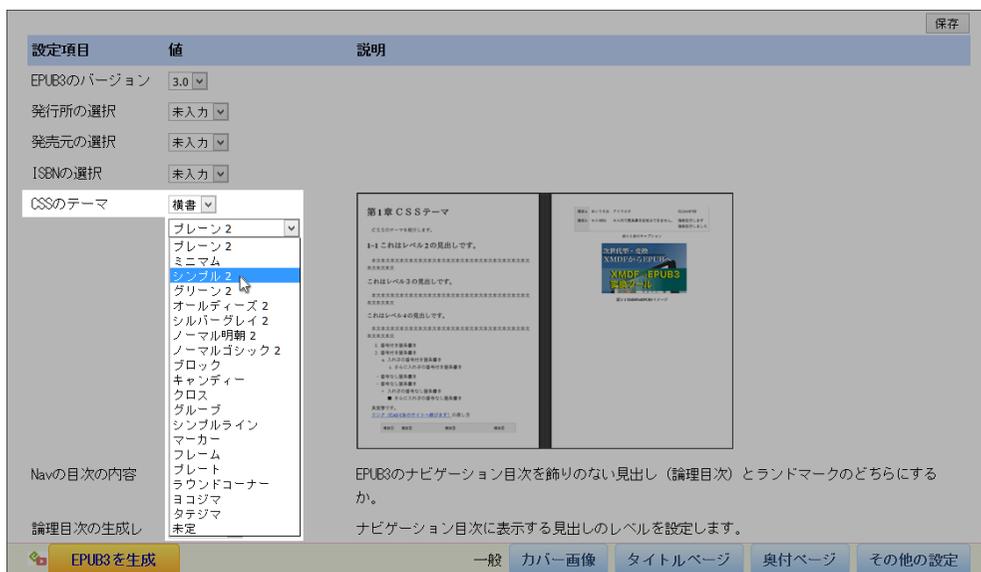


図1 EPUB3のテーマを選択

テーマは、横書き用と縦書き用のものが用意されています。縦書きのEPUBを生成するときは、縦書きのテーマを指定してください。



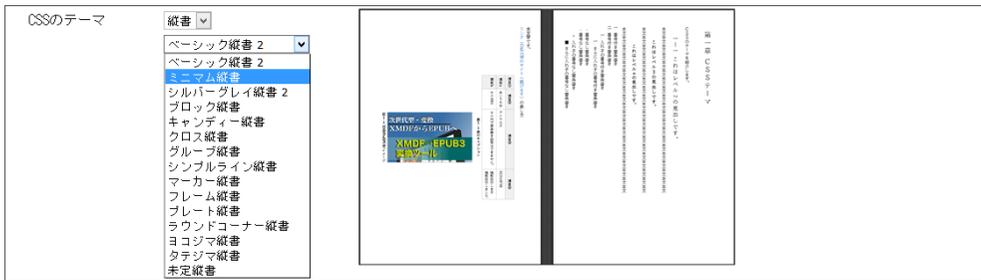


図2 横書きのテーマと縦書きのテーマ

テーマのリンク

各テーマはいくつかのCSS ファイルから構成されます。テーマを構成するCSS ファイルは各記事 XHTML の<head>要素の中にリンクが設定されます。

たとえば、(EPUB3)「CSS のテーマ」で「ミニマム」を選択してEPUB を生成し、本文の XHTML ファイルを開いて見ますと次の図のようなリンクが設定されています。この中で、“cas-common-epub.css” はCAS-UB の共通のCSS です。“themes/minimum/common.css” が「ミニマム」テーマのCSS です。

```

5 <meta name="CAS-UB-Publication-Class" content="book3" />
6 <meta name="Generator-Signature" content="CAS-UB Backend System Installed on 2013-11-27" />
7 <title>注と脚注の例</title>
8 <link rel="stylesheet" href="themes/cas-common.css" type="text/css" />
9 <link rel="stylesheet" href="themes/minimum/common.css" type="text/css" />
10 </head>
11 <body ah_level="2" ah_kind="article" テーマ名 51024 注と脚注の例 ah_entry_class="chapter">
12 <p>例1. 文章の中に注をつける方法<span ah_role="note" id="n.201609151024.1" class="note"><span>

```

図3 テーマのリンク

```

<link rel="stylesheet" href="themes/cas-common.css" type="text/css" />
<link rel="stylesheet" href="themes/minimum/common.css" type="text/css" />

```

EPUB のバージョンとテーマ

CAS-UB では、EPUB3、EPUB2、Kindle 用 EPUB (EPUB2 をベースにした Kindle 独自形式) という生成形式毎に異なる種類のテーマを設定できます。テーマのファイル構成自体は3つのEPUB生成で共通ですが、それぞれの生成においてXHTMLにリンクするCSSファイル(有効になるファイル)が若干異なっています。

本ガイドは、EPUB3生成を前提に解説します。EPUB2は日本ではあまり使われませんし、Kindle形式は、EPUB3準拠に切り替わりつつありますので省略します。

1.2 調整用スタイルシートとユーザー・スタイルシート

CAS-UB の共通スタイルシート、テーマのスタイルシート以外に「config.css」と

「style.css」というCSSファイルがリンクされることがあります。それぞれ「調整用スタイルシート」「ユーザー・スタイルシート」と言います。

```

<title>
  テーマとユーザー作成スタイルシートの関係
</title>
<link href="themes/cas-common_epub.css" rel="stylesheet" type="text/css"/>
<link href="themes/plain2/common.css" rel="stylesheet" type="text/css"/>
<link href="styles/config.css" rel="stylesheet" type="text/css"/>
<link href="styles/style.css" rel="stylesheet" type="text/css"/>
</head>

```

調整スタイルシート
ユーザー・スタイルシート

図4 調整用スタイルシートとユーザー・スタイルシート

※ このほかに、フォント埋め込みを行なった場合、font.cssをリンクします。この機能はCAS-UBが自動的に設定するものでユーザーが関与することはできませんので、説明を省略します。

調整用スタイルシート

調整用スタイルシートは、CSSテーマの設定の一部を変更（調整）したときに追加されるスタイルシートです。詳細は「ユーザーガイド」の12.2 CSSのテーマの機能と設定変更の項をご参照ください。

ユーザー・スタイルシート

ユーザー・スタイルシートは、ユーザー自身がレイアウトをカスタマイズするためのスタイルシートです。その役割については「ユーザーガイド」の12.3 レイアウトのカスタマイズ（ユーザー・スタイルシート）の項を参照してください。

- 本ガイドはユーザーがレイアウトをカスタマイズする方法について説明します。
- ユーザー・スタイルシートは、自身でエディタなどを使ってCSSファイルとして作成してください。
- CSSファイルは、CAS-UBの「スタイルシート」画面からアップロードします。
- EPUBにリンクするユーザー・スタイルシートは、「style.css」のみです。それ以外のユーザー・スタイルシートは、style.cssにインポートしてください。

• [CSS スタイルシート](#)

- ① 参照 ファイルが選択されていません。 ② スタイルシートのアップロード ③ style.cssとしてアップロード
- ファイル名がstyle.cssのスタイルシートファイルは.htmlで参照されます。
 - style.css内で記述された画像ファイル等もここに配置します。
 - ファイル名は半角英数字と“-”が使用可能です。

①CSSファイルを選択

②アップロード(style.css)

③style.css以外のファイル名のとき

[CSS調整](#)

名前順 拡張子順

選択	ファイル	処理
<input type="checkbox"/>	 config.css	プレビュー
<input type="checkbox"/>	 style.css アップロードされたファイル	プレビュー

図5 ユーザー・スタイルシートのアップロード

テーマを使わず、完全に独自のCSSを使いたいとき

テーマを使わずに、自分で作成したCSSだけでレイアウトを指定したいときは、「CSSのテーマ」を「未定」に設定します。CSSのテーマが未定になっているとき、EPUB3のXHTMLには「sys-default」という名前のテーマがリンクされます。sys-default テーマCSSの設定内容は空ですので、自分で作成したstyle.cssでゼロからレイアウト設定ができます。但し、その場合でもEPUBリーダーの既定値が有効となることに注意してください。

横書と縦書

ページの進行方向などは横書きと縦書きで異なります。ページの進行方向はCSSで指定するものではないので、縦書きのEPUB3を生成したいときは、「CSSのテーマ」で「縦書き」の「未定」に設定してください。

第2章 CAS-UBによる記事 XHTML

2.1 特 徴

ユーザー・スタイルシートを作るには、CAS-UBが出力するXHTMLの要素・属性・属性値について知っている必要があります。まず、CAS-UBのEPUBでは、記事がどのようにXHTMLファイルになっているかを簡単に説明します。

1. CAS-UBはEPUBを構成する各記事に、前書き、章、節、後書きといった種類を設定できます。記事の種類はクラス属性として設定しますので、CSSのクラス属性を使って記事の種類によりレイアウトを変更できます。記事の種類とクラス属性については2.2 記事の種類 (p. 5) を参照してください。
2. CAS-UBでは記事に階層を設定できます。階層は記事単位で、例えば節を章の子供にするなどの、ツリー構造として、または記事の中で見出しレベルによる階層化の2通りでできます。階層については2.3 タイトルと本文の見出しの関係 (p. 7) を参照してください。
3. CAS-UBのEPUBでは、編集機能で作成する記事に加えて、EPUB生成時にシステムが自動的に生成する記事があります。
4. 編集機能で作成する記事には、CAS記法でXHTMLの要素と属性を設定できます。2.4 CAS記法のブロック要素 (p. 9) および2.5 CAS記法のインライン要素 (p. 11) を参照してください。
5. システムが自動的に生成する記事にはCAS記法は使用できません。簡単なXHTMLの要素と属性のみが設定されます。

2.2 記事の種類

記事の種類についての説明は、「ユーザーガイド」の4-1 記事の種類を参照してください。また、表1 記事の種類 (EPUB3) (p. 6) にCAS-UB V4.0の記事の種類とクラス属性を一覧にしています。

1. 記事の種類は、XHTMLのbody要素にclass属性の値(クラス属性)として設定します。
2. クラス属性の値は、表1 記事の種類 (EPUB3) (p. 6) のクラス属性の欄に示しています。
3. CAS-UBのテーマを構成するCSSファイルには、記事の種類固有のものがありません。固有CSSの欄に示しています。

a) 固有 CSS は common.css の後ろにリンクされます。

記事の種類	既定ファイル名	クラス属性	固有 CSS
未定		sys-default-ent	common.epub.css
カバーページ	cover.xhtml	cover	common.css
タイトル前		before-title	common.css
タイトルページ	opening.xhtml	opening	opening.css
タイトルページ (手作り)		titlepage	common.css
権利関係		rights	common.css
献辞		dedication	common.css
前書		preface	common.css
目次	mltoc.xhtml	mltoc	common.css
目次 (手作り)		mltoc	common.css
目次後		preface-after-toc	common.css
本文の扉		body-title	common.css
プロローグ		body-start	common.css
章扉*	章のファイル名 _title.xhtml	chapter-titlepage	common.css
章		chapter	common.css
節		section	common.css
項		subsection	common.css
目		subsubsection	common.css
プロローグ		body-end	common.css
付録		appendix	common.css
後書き		postface	common.css
謝辞		acknowledgment	common.css
巻末注釈	xnotes.xhtml	xnotes	common.css
図表一覧	loft.xhtml	loft	common.css
参考文献表 (手作り)		references	common.css
参考文献表 (bib から自動生成)	references.xhtml	references-auto	common.css
索引	publ-index.xhtml	publ-index	common.css
プロフィール		profile	common.css
奥付 (手作り)		colophon	copyright.css
奥付	copyright.xhtml	copyright	copyright.css

表 1 記事の種類 (EPUB3)

* 生成画面の EPUB3: 一般 で 章扉を作る をチェックすると、章タイトルのみの記事が自動生成され、元記事の章タイトルのみが非表示になります。

参 考 旧版 (V2.x) の記事の種類 (p. 23)

2.3 タイトルと本文の見出しの関係

h1～h6 の見出し

CAS-UB の記事の編集画面でタイトルに入力した文字列は、head の title 要素と、body の先頭の見出しランク 1 (h1) 要素の内容として出力されます。

章・節などの記事本文には見出しランク 1～6 (h1～h6) を任意の回数マークアップができます。この結果、一つの記事に h1 要素～h6 要素が複数出現する場合があります。

一つの記事は、タイトルの見出しランク 1 (h1) と本文の見出しランク 1～6 (h1～h6) の出現範囲により、次のように階層化 (レベル付け) します。

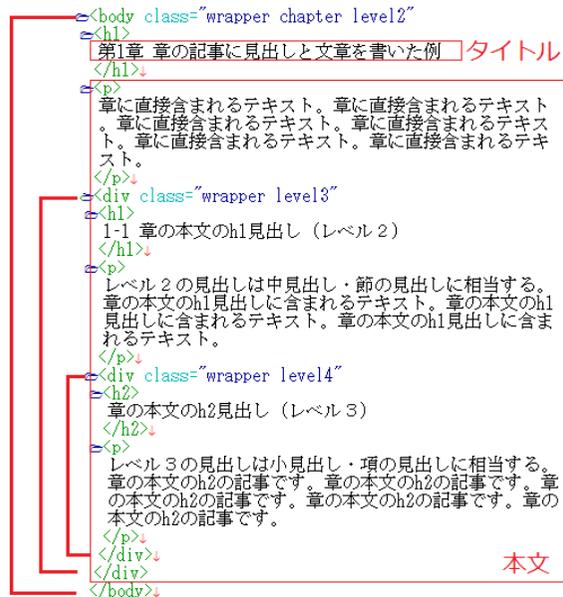


図1 記事の中を見出しランクで階層化

グローバル階層化

CAS-UB では出版物の構造を、章・節・項・目といった記事ファイルを単位として階層構造 (ツリー構造) で表現します。

出版物の階層構造は、記事編集画面の記事一覧で確認と編集ができます。

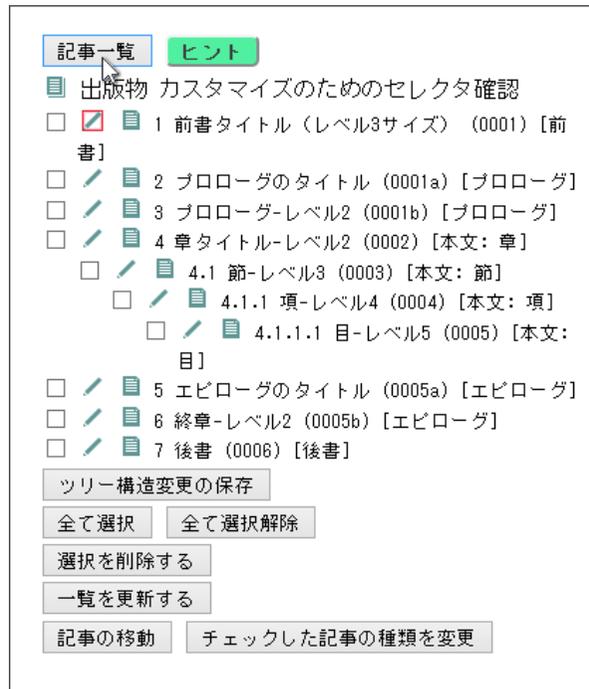


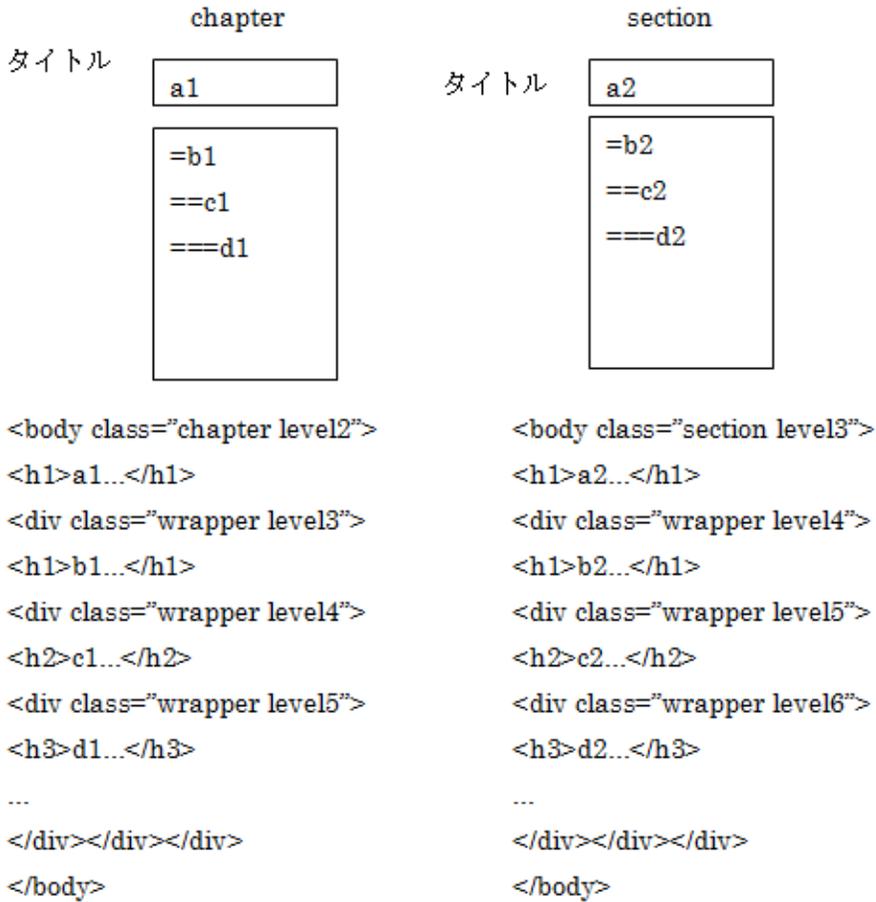
図2 記事一覧による記事の階層表示

※ 記事一覧は、記事編集画面で、[記事一覧] ボタンをクリックすることで、表示と非表示を切り替えられます。

class の level 属性値

EPUB の記事は、記事ファイル自体と記事の内部の 2 重の階層構造をもちます。CSS で見出しのレベルでレイアウトを変更するには、見出しのランク (h_n 要素の "n" の値) で決定するのではなく、EPUB のルート (レベル 1) からみた階層レベルを示す class 属性 (level_n) を使って、見出しのレベルを指定する必要があります。

1. 記事自体のレベルは、body 要素の class 属性に、章は level2、節は level3 として設定されています。
2. 本文の中見出しのレベルは見出しランク要素 (h_n) を div 要素でラップし、div の class 属性に level 値を設定しています。



例) chapter の h2 はレベル 4 だが、section の h2 はレベル 5 となる。

図3 レベルの設定

2.4 CAS 記法のブロック要素

CAS 記法のマークアップで出力されるブロック要素とそのマークアップの方法は次の表の通りです。

CAS 記法	要素	説明
空行 タイトル入 力枠 行頭の=の数	p title, h1 h1~h6 要素と見出しを ラップする div とその class 属性、id 属性	段落 タイトルに入力したテキストは、head の title と body 直下の h1 の内容となる 本文中の h1 から h6 の見出しは div でラップし て階層化。 ラップした div に階層をあらわす class="wrapper leveln" を付与。

CAS記法	要素	説明
行頭の#	ol/li	見出しに対応する id 属性を付与。 番号付き箇条書き。 箇条書きの項目に続く行頭の##で箇条書きのネストとなる。
行頭の*	ul/li	番号なし箇条書き。 箇条書きの項目に続く行頭の**で箇条書きのネストとなる。
行頭の*-- -- >> ... << ---- +++++ {{{ ... }}} =,	dl/dt/dd blockquote hr hr class= "page-break" pre table tr th/td	用語定義リスト ブロック引用 水平線 強制改ページ 整形済みブロック セル結合を利用していない簡単な表。 ヘッダ行は<tr class="ah_head">となる。表を特殊化していない ([[tbl で囲んでない) ときは罫線を非表示とし、セル内容の位置揃えに使う。特殊化した表では、罫線を表示したり、飾りをつけた表レイアウトとする。
[[[...]]] 特殊ブロック	div ブロック範囲指定のクラス属性値として、5種類の特殊ブロックを定義済み	ブロック範囲指定 5種類の特種ブロックにはキャプションをつけることができる。
[[[:fig ...]]]	<div class="fig"> <p>alt=" " XXX" ></p></div>	図のブロック
[[[:sum ...]]]	<div class="sum">	要約のブロック
[[[:col ...]]]	<div class="col">	コラムのブロック
[[[:ann ...]]]	<div class="ann">	注記（本文段落に付随する補足説明の文章）ブロック

CAS 記法	要素	説明
]] [[[:tbl ...]]	<div class="tbl">	表のブロック
([[[:XXX) =	<div class="caption">キ ャプションテキスト</ div>	特殊ブロック後ろの=以降のテキストをブロッ ク要素 (div) の内容とし、div には class="caption" 属性を設定する。特殊ブロック全体を div でラ ップし、その div に id が付きます。
<<embed ... >>	table、svg を埋め込む	埋め込みブロックには、'_embeddedsection_' ク ラス属性を付与します。
\$\$... \$\$	ブロックに MathML、 SVG、TeX を記述	行頭から始まる \$\$ で数式をサンドイッチすると ブロック数式とします。
<<ignore ... >>	無し	コメントアウトブロック ブロック内の記述を生成時にすべて無視しま す。

表2 CAS 記法のブロック要素

- CAS 記法の詳細については「CAS-UB ユーザー・ガイド」(<http://www.cas-ub.com/howto/support.html>) を参照してください。
- オンライン CAS 記法リファレンス

2.5 CAS 記法のインライン要素

CAS でマークアップできるインライン要素は次の表の通りです。

CAS 記法	要素	説明
** ... **	strong	ボールド
//...//	em	弱い強調 (一般にイタ リック)
___...___	...	アンダーライン
[[[:notice ...]]]	...	アンダーライン
^^...^^	sup	上付き
,,....,	sub	下付き
[[[...]]]	span	範囲指定
((...))	...	注釈を後注とする場 合、本文中には注釈番 号のみを表示し、注釈 本文は非表示とする。

自動生成	...	後注処理したときの注番号（生成テキスト）
((:footnote ...))	...	脚注は注釈の一種。footnote トークンを追加する。
**: kenten など	例) <em class="kenten"> ... <em class="kenten2"> ... <em class="kenten3"> ... 	span, em, strong の class 属性に kenten、kenten2、kenten3 の 3 種類の値を設定して圈点の種類を表します。
{{{...}}}	tt (EPUB3 で廃止)	タイプライター
\\	br	強制改行
[[URL ...]]	 ... 	アンカー
[[! URL ...]]		PDF 出力時に URL を括弧内や注釈として表示する意図を表します。
[[> URL ...]]		リンク先を別ウィンドウで開くオプション
[[#ID ...]]	 ... 	ID による参照
[[##ID ...]]	 ... 	別ファイル内の ID による参照。このときの ID は CAS-UB が自動的に生成したもの（次項参照）に限ります。
ID の生成	見出し (h1~h6) とキャプション付きブロック範囲指定、索引と注釈が ID 生成対象です。ラッパ (div 要素) にタイトル・テキストから ID を生成します。索引と注釈の ID はファイル内で連番をつけます。	
索引 [[[:index key=	索引は span、em、strong の class 属性で示します。 ... <em class="index" <u>key="でんししょせき"</u> id="_3201105182003_2e_2e0">電子書籍	索引語の指定 単純な索引 key は独自拡張なので EPUB 出力時は削除。以下、同様。
[[[:index:nodisp	<em class="index nodisp" <u>key="でんししょせき"</u> id="_3201105182003_2e_2e1">電子書籍	索引語を表示しない。

	<pre><em class="mindex" id="_3201105182003_2e_2e2"><strong class="prim" key="でんししょせき">電子書籍</ strong>の<strong class="second" key="つくりか た">作り方を述べる。 <em class="mindex" id="_3201105182003_2e_2e3"><strong class="both" key="でんししょせき">電子書籍</ strong>の<strong class="both"key="つくりかた"> 作り方を述べる。</pre>	入れ子の索引
ルビ (ruby) (((... ...)))	<pre>被ルビ文字 (ルビ文字列) <ruby><rb>被ルビ文字</rb><rp>(</rp><rt>ルビ 文字列</rt><rp></rp></ruby></pre>	入れ子の索引を2つ 作る
{{... ...}}	<pre></pre>	CAS 記法のルビマー クアップを EPUB2 に 出力するときは class 属性で設定します。 CAS 記法のルビマー クアップを EPUB3 に 出力するときは ruby 要素を設定します。 イメージと代替テキ スト
\$\$...\$\$	MathML、SVG、TeX を \$\$ でサンドイッチ	インライン数式

表3 CAS 記法のインライン要素

2.6 クラス属性、組み込みクラス属性と ID 属性

CAS-UB では任意の要素にクラス属性、属性と属性値のペア、ID 属性をつけることができます。属性指定の方法については、「ユーザーガイド」第8章 レイアウトのマークアップを参照してください。

クラス属性

CAS-UB のシステムで処理を組み込んでいるクラス属性の値については、「ユーザーガイド」の9-2 組み込みクラス属性値一覧を参照してください。組み込みクラス属性には CSS で標準的レイアウトを設定してあります。

ユーザー独自のクラス属性を設定して、style.css でそのレイアウトを設定すれば任意のレイアウト設定が可能になります。

属性と属性値

CAS 記法で属性と属性値のペアも指定できます。但し、EPUB で許可されていない属性と属性値は EPUBCheck などエラーになりますので使わないことをお勧めします。

第3章 カスタマイズの例

CAS-UB V4.0 より、タイトルや見出しなどがカスタマイズしやすいよう、装飾や配置指定を最低限にとどめた CSS テーマ「ミニマム」と「ミニマム縦書」を追加しました。

以降は、「ミニマム」「ミニマム縦書」を例に、カスタマイズ方法を解説します。

3.1 タイトル・見出しのカスタマイズ

CAS-UB で生成した EPUB では、CAS-UB の 1 つの記事が EPUB 内の 1 つの XHTML ファイルとなります。

各記事のタイトルは、<body>の直後に<h1></h1>で入ります。

<body>には、つぎのように記事の種類に対応したクラス属性が付きます。

記事の種類	クラス属性
本文：章	class="chapter level2"
本文：節	class="section level3"
本文：項	class="subsection level4"
本文：目	class="subsubsection level5"
章扉	class="chapter level2 chapter-titlepage"
プロローグ	class="body-start level2"
エピローグ	class="body-end level2"

表1 本文記事のクラス属性

level2～live5 は、記事一覧のツリー構造の上位から順に番号付したクラス属性です。CAS-UB 上での最上位（level1）は出版物そのものになるため、level2 が EPUB の XHTML での最上位となります。

例えば、style.css に level2 への設定を記述すると、本文：章、章扉、プロローグ、エピローグのすべてに適用されることになります。しかし、前書類や後書類も記事一覧のツリー構造の最上位にあるため<body>に level2 が付けられています。前書や後書を使っている場合は、それらへ影響しないようにする必要があります。

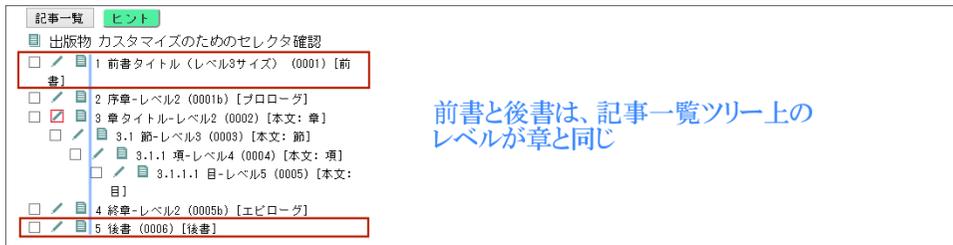


図1 記事一覧の構成例

章タイトルのカスタマイズ

章に類する記事の種類には、「本文：章」の他に「章扉」「プロローグ」「エピローグ」があります。

章扉

※ 「章扉」は、EPUB3：生成の一般設定で「章扉を作る」をチェックしておくと、「本文：章」の記事タイトルのみのファイルが生成されクラス属性に'chapter-titlepage'が追加されます。元の記事では章タイトルのみが非表示になります。

※ 「本文：章」の記事がタイトルのみのときは、新たな記事は作らず<body>にクラス属性'chapter-titlepage'が追加されます。

※ 「プロローグ」「エピローグ」では扉は作りません。

(1) XHTML

「本文：章」

```
<body class="wrapper chapter_level2"
id="e_2e_30_30_30_32_2e_E7_AB_A0_E3_82_BF_E3_82_A4_E3_83_88_E3_83_AB-_E3_83_AC_E3_83_99_E3_83_AB_32"><h1>章タイトル-レベル2</h1>
<p>章直下の本文</p>
```

「章扉」

```
<body class="wrapper chapter_level2 chapter-titlepage"
id="e_2elevel_32_2eLEVEL_32_20_E3_82_BF_E3_82_A4_E3_83_88_E3_83_AB"><h1>LEVEL2 タイトル</h1>
```

「プロローグ」

```
<body class="wrapper body-start_level2"
id="e_2e_30_30_30_31b_2e_E5_BA_8F_E7_AB_A0-_E3_83_AC_E3_83_99_E3_83_AB_32"><h1>プロローグ-レベル2</h1>
```

「エピローグ」

```
<body class="wrapper body-end_level2"
id="e_2e_30_30_30_35b_2e_E7_B5_82_E7_AB_A0-
```

```
_E3_83_AC_E3_83_99_E3_83_AB_32"><h1>エピローグ-レベル2</h1>
```

(2) スタイルシート

```
/* 章レベルタイトルの文字サイズを本文の2倍にする */
body.level2>h1 {
  font-size:2em;
}
```

(3) 表示例

スタイルシート適用前

```
章タイトル-レベル2
章直下の本文
```

スタイルシート適用後

```
章タイトル-レベル2
章直下の本文
```

記事の種類に前書類と後書類を使っていない出版物であればこれで問題ありません。

記事の種類に前書類と後書類を使っている場合、この記述では前書類と後書類のタイトルにもスタイルシートが反映されてしまいます。

前書類と後書類のタイトルに影響しないようにするには'level2'は使えません。次のように、指定を反映させたい記事固有のクラス属性を列記する必要があります。

```
/* 章レベルタイトルの文字サイズを本文の2倍にする */
body.chapter>h1,
body.body-start>h1,
body.body-end>h1 {
  font-size:2em;
}
```

※ 章扉には、'chapter'と'chapter-titlepage'の両方が付いているので、'chapter-titlepage'は指定する必要はありません。

※ 記事中に見出しのマークアップをすると、最初のレベル（'='が1つ）の見出しに<h1></h1>が付くので、タイトルのセレクトは<body>直後の<h1></h1>に対してのみ効くように'>'を入れます。

節見出しのカスタマイズ

「本文：節」（記事一覧で「本文：章」直下レベルにある本文記事）のタイトルと、「本文：章」の記事中の最初のレベル（'='が1つ）の見出しが節見出しとなりますので、両方に効くように指定する必要があります。

(1) XHTML

「本文：節」 タイトル

```
<body class="wrapper section level3"
id="e_2e_30_30_30_33_2e_E7_AF_80-
_E3_83_AC_E3_83_99_E3_83_AB_33"><h1>節-レベル3</h1>
<p>節タイトル直下の本文</p>
```

「本文：章」 記事中の節見出し

```
<div class="wrapper level3"
id="h_2e_30_30_30_32_2e_E7_AB_A0_E3_81_AE_E4_B8_AD_E3_81_AE_E7_
_AF_80-_E3_83_AC_E3_83_99_E3_83_AB_33"><h1>章の中の節-レベル3</h1>
<p>節の本文</p>
```

(2) スタイルシート

```
/* 節見出しの文字に下線を付ける */
body.section>h1,
body.chapter div>h1 {
  text-decoration: underline;
}
```

(3) 表示例

「本文：節」 タイトル

節-レベル3
節タイトル直下の本文

「本文：章」 記事中の節見出し

章タイトル-レベル2

章直下の本文

章の中の節-レベル3
節の本文

※ 「本文：節」タイトルと「本文：章」中の節見出しは、どちらもクラス属性 'level3'が付いているので、'level3'だけでも指定できます。しかし、前書類と後書類の記事中にマークアップされた最初のレベル（'='が1つ）の見出しにも 'level3'が付くので、注意が必要です。

項・目見出しのカスタマイズ

「本文：項」「本文：目」と、それより下位レベルの見出しは、クラス属性 'level4'～'level9'の指定でカスタマイズします。但し、前書き類と後書類の記事中に深いレベルの見出し（見出しのマークアップ'='以上）を使う場合は、「本文：項」「本文：目」にのみ作用するように指定する必要があります。

level	タイトル・見出し	本文のセレクト
level2	「本文：章」類タイトル 前書き類と後書類のタイトル	body.chapter>h1, body.body-start>h1, body.body-end>h1
level3	「本文：節」タイトル 「本文：章」類の'='見出し 前書き類と後書類の'='見出し	body.section>h1, body.chapter div>h1, body.body-start div>h1, body.body-end div>h1
level4	「本文：項」タイトル 「本文：節」の'='見出し 「本文：章」類の'=='見出し 前書き類と後書類の'=='見出し	body.subsection>h1, body.section div>h1, body.chapter div>h2, body.body-start div>h2, body.body-end div>h2
level5	「本文：目」タイトル 「本文：項」の'='見出し 「本文：節」の'=='見出し 「本文：章」の'==='見出し 前書き類と後書類の'==='見出し	body.subsection>h1, body.subsubsection div>h1, body.section div>h2, body.chapter div>h3, body.body-start div>h3, body.body-end div>h3
level6	「本文：目」の'='見出し 「本文：項」の'=='見出し 「本文：節」の'==='見出し 「本文：章」類の'===='見出し 前書き類と後書類の'===='見出し	body.level6
level7	「本文：目」の'=='見出し 「本文：項」の'==='見出し 「本文：節」の'===='見出し 「本文：章」類の'====='見出し 前書き類と後書類の'====='見出し	body.level7
level8	「本文：目」の'==='見出し 「本文：項」の'===='見出し 「本文：節」の'====='見出し 「本文：章」類の'======'見出し 前書き類と後書類の'======'見出し	body.level8
level9	「本文：目」の'===='見出し 「本文：項」の'====='見出し 「本文：節」の'======'見出し 「本文：章」類の'======'見出し	body.level9

表2 level* とタイトル・見出しの関係

前書類と後書類のタイトル・見出し

前書類と後書類のタイトル・見出しをカスタマイズする場合、カスタマイズ対象となる記事の種類のクラス属性を列記してください。

例.

「前書」「後書」「付録」のタイトルをカスタマイズする場合

```
/* 前書、後書、付録のタイトル文字を赤にする */
body.preface>h1, /* 前書のクラス属性 */
body.postface>h1, /* 後書のクラス属性 */
body.appendix>h1 { /* 付録のクラス属性 */
  color:red;
}
```

前書類と後書類のクラス属性については、2.2 記事の種類 (p. 5) を、ご参加ください。

目次や索引などの自動生成の記事タイトルも、同様の指定方法でカスタマイズできます。

章扉のカスタマイズ

EPUB3 生成の一般設定画面で「章扉を作る」をチェックして EPUB3 を生成すると、記事タイトルが章扉として生成されます。

「章扉」の<body>には'chapter-titlepage'というクラス属性が付きます。章扉のタイトル文字列は<body>直後に <h1></h1> タグで入ります。

よって、「章扉」タイトルをカスタマイズするときのセレクトは body.chapter-titlepage>h1 となります。

例. 縦書の出版物で章扉を左右中央配置にする

縦書きの章扉タイトルは、そのままでは右寄りに配置されます。

縦書で左右中央配置にする方法はいくつかありますが、一長一短があり、すべてのリーディングシステムで問題なく表示されることを保証できる方法は今のところありません。

よく使われる方法としては、横書きのページに縦書きのブロックを配置するというものがあります。

EPUB3 生成の一般設定画面で「章扉の文字進行方向」に「横書」を指定すると、xhtml の<html>タグに'hltr'というクラス属性が付きます。縦書の CSS テーマには、<html>タグにクラス属性'hltr'が付けられたら文字進行方向を横書きにする設定が含

まれています。

文字の進行方向が横書きのときに、タイトルブロックを縦書きにして左右中央配置にするには、次のように指定します。

```
/* 章扉タイトルを左右中央配置にする */
html.hltr body.chapter-titlepage>h1 {
  padding:0;          /* タイトルのパディング指定リセット */
  margin-top:1em;    /* タイトルの上を1文字空ける */
  margin-bottom:1em; /* タイトルの下を1文字空ける */
  text-align:left;   /* タイトル行頭寄せにする */
  margin-left: auto; /* タイトルを左右中央配置にする1 */
  margin-right: auto; /* タイトルを左右中央配置にする2 */
  -epub-writing-mode: vertical-rl; /* タイトルを縦書にする */
  writing-mode: vertical-rl; /* タイトルを縦書にする */
}
```

※ 「章扉」にはクラス属性'`chapter-titlepage`'の他に「本文：章」のクラス属性'`chapter`'も付けられているので、「本文：章」タイトルをカスタマイズしていると「章扉」タイトルにも適用されますのでご注意ください。

3.2 表の左右罫線とヘッダーの背景

CSS テーマ「ミニマム」と「プレーン2」の特殊化された表では、JISの日本語組版ルールに従い左右の罫線を出していません。

表の左右に罫線罫線を付ける

CSS テーマ「ミニマム」と「プレーン2」の特殊化された表で、左右の罫線を付きたいときは次の指定を'`style.css`'に追加します。

```
/* 特殊化された表の左右に罫線を付ける */
.tbl table {
  border-left: thin solid #000;
  border-right: thin solid #000;
}
```

適用例

(1) 適用前

CAS記法	要素	説明
特殊ブロック	ブロック範囲指定のクラス属性値として、5種類の特種ブロックを定義済み	5種類の特種ブロックにはキャプションをつけることができる。
{[[:XXX]] =	<div class="caption">キャプションテキスト</div>	特殊ブロック後ろの=以降のテキストをブロック要素 (div) の内容とし、divにclass="caption"属性を設定する。特殊ブロック全体をdivでラップし、そのdivにidが付きます。

(2) 適用後

CAS記法	要素	説明
特殊ブロック	ブロック範囲指定のクラス属性値として、5種類の特種ブロックを定義済み	5種類の特種ブロックにはキャプションをつけることができる。
[[[:XXX]] =	<div class="caption">キャプションテキスト </div>	特殊ブロック後の=以降のテキストをブロック要素(div)の内容とし、divにはclass="caption"属性を設定する。特殊ブロック全体をdivでラップし、そのdivにはidが付きます。

表のヘッダーセルに背景色を付ける

ヘッダーセルに背景色を付けたいときは、次の指定を'style.css'に追加します。

```
/* 特殊化された表のヘッダーセルに背景色を付ける */
.tbl th {
    background-color: #F0F0F0;
}
```

適用例

(1) 適用前

前例「表の左右に罫線罫線を付ける」の「(1) 適用前」参照

(2) 適用後

CAS記法	要素	説明
特殊ブロック	ブロック範囲指定のクラス属性値として、5種類の特種ブロックを定義済み	5種類の特種ブロックにはキャプションをつけることができる。
[[[:XXX]] =	<div class="caption">キャプションテキスト </div>	特殊ブロック後の=以降のテキストをブロック要素(div)の内容とし、divにはclass="caption"属性を設定する。特殊ブロック全体をdivでラップし、そのdivにはidが付きます。

第4章 旧版仕様など

4.1 記事の種類（旧版 V2.x 用）

- ◆ この記載内容は CAS-UB の旧版（V2.4 以前）向けのもので、最新の情報は 2.2 記事の種類（p. 5）にあります。

記事の種類についての説明は、「ユーザーガイド」の 4-1 記事の種類を参照してください。また、表 1 記事の種類（EPUB3）（p. 6）に CAS-UB V2.2 の記事の種類とクラス属性を一覧にしています。

1. 記事の種類は、XHTML の body 要素に class 属性の値（クラス属性）として設定します。
2. クラス属性の値は、表 1 記事の種類（EPUB3）（p. 6）のクラス属性の欄に示しています。
3. CAS-UB のテーマを構成する CSS ファイルには、記事の種類固有のものがああります。固有 CSS の欄に示しています。
 - a) 固有 CSS は common.css の後ろにリンクされます。

記事の種類	既定ファイル名	書籍 1	書籍 2	ノート 1	マニュアル 1	クラス属性	固有 CSS
未定	cover.xhtml	○	○	○	○	sys-default-ent cover	common.epub.css common.css
カバーページ		○	○	○	○		
タイトルページ（表題）	opening.xhtml	○	○	○	○	opening	opening.css
ユーザー作成扉	mltoc.xhtml	×	○	○	×	titlepage	common.css
目次		○	○	○	○	mltoc	mltoc.css
前書き		○	○	○	○	preface	common.css

ユーザー作成		×	○	○	×	mltoc	common.css
目次							
謝辞		○	○	×	○	acknowledgment	common.css
献辞		○	○	×	○	dedication	common.css
権利関係		○	○	×	○	rights	common.css
章		○	○	○	○	chapter	common.css
節		○	○	×	○	section	common.css
項目		×	○	×	○	subsection	common.css
目		×	○	×	○	subsubsection	common.css
後書き		○	○	○	○	postface	common.css
巻末	xnotes.xhtml	○	○	○	○	xnotes	common.css
注釈							
付録		○	○	×	○	appendix	common.css
図表	loft.xhtml	○	○	○	○	loft	common.css
一覧							
参考文献	ユーザー作成は任意。 自動作成はreferences.xhtml	○	○	○	○	references	common.css
献表							
索引	publ-index.xhtml	○	○	×	○	publ-index	common.css
奥付	copyright.xhtml	○	○	×	○	copyright	copyright.css

表 1 記事の種類 (EPUB3)

参考資料

EPUB 用のテーマのファイル構成

EPUB 用の各テーマは次のファイルから構成しています。

役割	デフォルト・ファイル名
CAS-UB 全出版物共通のスタイルシート	cas-common.css, cas-common_epub.css
記事の種類を通してのデフォルトのスタイルシート	common.css
記事の種類に固有のスタイルシート	「記事の種類」の表を参照

表1 テーマの構成

自動生成カバー画像のレイアウト・カスタマイズ

カバー画像が指定されていないとき、タイトルページ (`opening.html`) からカバー画像を自動生成します。EPUB は一般に別途デザインした表紙画像を使いますので、CAS-UB で自動生成する表紙画像は正式画像の代わりの一時的な仮画像の位置づけです。

フォールバックのカバー画像の自動生成はサーバ上で、AH CSS Formatter (Web ページ参照) を使って行なっています。この機能を利用して、自動生成画像のレイアウトを自分で変更もできます。

タイトルページから作るカバー画像のレイアウトを指定するには、`style.css` に表紙画像専用の CSS を次のように記述します。

1. タイトルページ専用のレイアウト指定には"opening"を使います。
2. 出力媒体を `print media` に指定します。
3. カバー画像の大きさは 1092×1612 です。
4. CSS のプロパティには、AH CSS Formatter で使える独自拡張機能も指定できます。

レイアウトを設計するときは、AH Formatter を使って `opening.html` を組版しながら行なうと便利です。AH CSS Formatter で表示レイアウトをプレビューするときには用紙サイズを 28.89cm×42.65cm に指定してください。

図表一覧

図一覧

第1章 テーマとユーザー作成スタイルシートの関係

- 図1 EPUB3のテーマを選択 (p. 1)
- 図2 横書きのテーマと縦書きのテーマ (p. 2)
- 図3 テーマのリンク (p. 2)
- 図4 調整用スタイルシートとユーザー・スタイルシート (p. 3)
- 図5 ユーザー・スタイルシートのアップロード (p. 4)

第2章 CAS-UB による記事 XHTML

- 図1 記事の中を見出しリンクで階層化 (p. 7)
- 図2 記事一覧による記事の階層表示 (p. 8)
- 図3 レベルの設定 (p. 9)

第3章 カスタマイズの例

- 図1 記事一覧の構成例 (p. 16)

表一覧

第2章 CAS-UB による記事 XHTML

- 表1 記事の種類 (EPUB3) (p. 6)
- 表2 CAS記法のブロック要素 (p. 11)
- 表3 CAS記法のインライン要素 (p. 13)

第3章 カスタマイズの例

- 表1 本文記事のクラス属性 (p. 15)
- 表2 level* とタイトル・見出しの関係 (p. 20)

第4章 旧版仕様など

- 表1 記事の種類 (EPUB3) (p. 24)

参考資料

- 表1 テーマの構成 (p. 25)

CAS-UB サポート

アンテナハウス株式会社が提供する「クラウド型汎用書籍編集・制作サービス」(CAS-UB)のサポート情報を提供します。

CSS レイアウトのカスタマイズガイド V4

2016年10月19日発行 V4.0 初版

著 者 CAS-UB サポート
発 行 者 小林 徳滋
発 行 所 アンテナハウス株式会社
住 所 東京都中央区東日本橋2丁目1番6号 東日本橋藤和ビル5階
電話番号 03-5829-9021
W E B <http://www.antenna.co.jp/>
Eメール info@antenna.co.jp

アンテナハウス株式会社
Copyright (C) 2011-2016 Antenna House, Inc. All rights reserved.